

懐かしくほつとする 日本の原風景、里山を身近に再生する

在来種を混植させた
緑のキューブ

ひと昔前までは、日本の大抵の地域には野原や林、山などの自然があり、道ばたで芽生える雑草からも四季を感じられたものでした。しかし今では都会の地面はコンクリートやアスファルトで固められ、雑草や雑木が生い茂るあたり前の風景は姿を消しつつあります。

そんな日本人の心の原風景である里山をとり戻そうと、開発された植栽システムがあります。 $5\times$ 緑(ごばいみどり)と名付けられたこの緑

のキューブは、フトンカゴと呼ばれる直方体の金網に入人工土壤を詰め、4側面と上面に植栽が施されています。この方法なら、名前の通り、狭い面積でも緑の量は5倍に。また大きな特徴として、 $5\times$ 緑に使われている植物は関東圏の在来種を中心に構成されていることがあります。

福島とくばで生産された植物が多数混植されていて、あたかも小さな里山のようです。気候風土に合った植物ばかりで、育てやすく、親します。昔ながらの懐かしい植物を楽しめて、里山の植生を守る活動ともつながるという

わけです。



ベランダでも活用されている

ガードレールが、このシステムにより、自然感あふれるオブジェとなりました。このガードレールが完成した時期はちょうど秋口で、ききょうやおみなえしが咲き、道行く人々の目を楽しませたそうです。確かに一般のガードレールは、とても無機質。こんなふうに緑のガードレールが増えたら、街もすいぶん心地よくなるに違いありません。



アクアマリンふくしまのグリーンウォール

柏の葉キャンパス駅前の
緑化したガードレール

場。歩道と車道を分離する
ガードレールが、このシステム
により、自然感あふれるオブ
ジェとなりました。このガ
ードレールが完成した時期はち
ょうど秋口で、ききょうやお
みなえしが咲き、道行く人た
ちの目を楽しませたそうで
す。確かに一般のガードレール
は、とても無機質。こんなふ
うに緑のガードレールが増え
たら、街もすいぶん心地よく
なるに違いありません。

もちろん、 $5\times$ 緑を個人の庭やベランダ、屋内に取り入れることもできます。もつと手軽に楽しむなら、里山ユニットとよばれる寄せ植えがおすすめ。ユニークなところで、緑に覆われたテーブルやスツールもあり、テラスやサンルームにびつたりといえます。

トライアンド現象を緩和して
いるという検証もなされています。このような屋上・壁面
緑化の他、最近ではつくは
クスブレスの柏の葉キヤンバス
駅前に、緑化したガードレー
ル「トラフィックキューブ」が登
せんか。

個人邸。玄関までのアプローチがコンクリートで地
植えできなかったので、 $5\times$ 緑で植栽地を設けた

(株)アネックス $5\times$ 緑(ごばいみどり)事業部
東京都渋谷区恵比寿3-33-3 TEL.03-3280-2041
<http://www.5balmidori.com/>